

国際シンポジウム「ロシアと日本の研究者の目からみる日露戦争サハリン戦」

Международный симпозиум «История русско-японской войны на Сахалине глазами русских и японских исследователей»

第1日 10月9日（土）

会場 北海道大学人文社会科学研究教育棟W309

第1セッション 研究の立脚点 14:00～16:30

アレクサンドル・コスタノフ（サハリン州公文書管理局）

日露戦争サハリン戦に関する文書館資料状況

ミハイル・ヴィソコフ（サハリン大学）

ロシアにおける日露戦争サハリン戦研究

（討論者：原暉之）

第2セッション 戦争と産業 16:45～18:15

ガリーナ・シャルクス（サハリン大学）

日露戦争とサハリン鉱業

（討論者：神長英輔）

19:00～ 懇親会

第2日 10月10日 (日)

会場 小樽商科大学札幌サテライト校舎 (紀伊国屋書店札幌本店3階)

第3セッション 戦争と住民 10:00~12:30

マリーナ・イシチェンコ (サハリン大学)

日露戦争とサハリン住民

ナターリヤ・ポタポヴァ (サハリン大学)

日露戦争と教会の役割

(討論者: 板橋政樹・天野尚樹)

エクスカージョン

月形町月形博物館 13:30~

※報告はロシア語、ただし日本語訳テキストあり。質疑応答は通訳付き。

連絡先 天野尚樹 (amnk775@aol.com)

主催: 文部科学省科学研究費助成金「国境の植民地サハリン (樺太) 島の近代史: 戦争・国家・地域」

共催: 小樽商科大学、文部科学省科学研究費助成金「19~20世紀北東アジア史のなかのサハリン」

北海道大学スラブ研究センター、サハリン・樺太史研究会